

みんなの願い「交通安全」

県教育委員会・県交通安全協会主催の「第五十六回交通安全ポスター・作品コンクール」で、二幸小学校二年の岡崎悠樹くんがポスターの部で自転車の片手運転防止を描いて県教育委員会賞、油木中学校一年の川崎有希さんがシートベルトの必要性などを訴えて、作文の部で銀賞を受賞しました。また、神石交通安全協会（小川一丸会長）が二月二日から十日まで、シルトピアカレッジ図書館でコンクールに参加した小中学生の優秀作品ポスターを展示し、「交通安全」を呼びかけました。



交通安全ポスター作品展示



この川を見守りたい。絵手紙の表彰

川での思い出や川への思いなどをテーマに全国から募集した国土交通省主催の「河川愛護月間 絵手紙」コンクールで、二幸小学校五年の矢野乃佳さん（写真右）が審査員特別賞、同校四年の川上光さん（写真左）が奨励賞を受賞しました。二人は木津和川で魚を手づかみした様子や阿下川のメダカの様子などをそれぞれ描き、一月二十八日、同校で行われた表彰伝達式で、「メダカの住むこのきれいな川をずっと見守っていきましょ」と話していました。



神石高原町観光ガイド

中国山地やまなみ大学

中国山地の豊かな自然や文化などを生かし、中国山地を拡大なキャンパスと見立て、地域の特性を生かした個性あふれる講座を体験できる場を提供する「中国山地やまなみ大学」。ご存知ない方もいらっしゃるかもしれませんが、神石高原キャンパスでも金上・陶芸・絵手紙・こんにゃく作りそば打ちなどを体験することができます。講座の中には、宿泊型のものもあります。神石高原キャンパスでは三月十五日・十六日の一泊二日で、普段あまり馴染みのない「お寺」でしかできない座禅・作務・胡麻豆腐作りなどを体験できます。

中国山地やまなみ大学の講座については、役場本庁・各支所に備え付けの「やまNAVY」もしくはやまなみ大学HP (<http://www.univ-yamanami.jp/>) でもご覧いただけます。

問 中国山地やまなみ大学
神石高原キャンパス事務局
☎〇八四七—八九—三三三—（企画課内）





食後の歯磨きが基本です。8020 表彰

八十歳で二十本以上の歯。一月三十日、府中・神石地区歯科衛生連絡協議会主催の8020運動達成者へ牧野町長から表彰状が手渡されました。皆さんは「食後の歯磨きが大切」と話され、中でも高橋阿誠さん(高瀬)は「一日六回磨いています」とのことでした。達成者は次の方々です。(敬称略)

赤木	菊枝	(下)	豊松
井原	イツミ	(いちば)	
江草	正春	(上)	豊松
岡崎	進	(有)	木
川上	敦司	(草)	木
国橋	和歌子	(上)	豊松
蔵吉	優	(草)	木
児玉	忠雄	(小)	島
高橋	阿誠	(高)	瀬
高橋	武	(高)	瀬
田邊	忠之	(仙)	豊西
東	孝子	(井)	関大矢
前原	敏登	(坂)	瀬川
松岡	喜代	(いちば)	
三原	郡二	(西)	油木
宮原	スミエ	(木)	津和
渡辺	ムツエ	(小)	島

火災のない一年に。消防団出初式

豊松山村広場で二月二十七日、平成二十年神石高原町消防団出初式が挙行されました。式典では豊松方面隊の妹尾弘道団員が、この日辞令交付を受けた新入団員十四名を代表し「忠実に消防の義務を遂行します」と宣誓し、梅尾英志団長は「連続不審火はまだ解決していない。今後も団員一丸となって住民の生命財産を守り、火災のない安全な町をめざそう」と訓示されました。また、広島県知事表彰など各種表彰状の授与や団員と消防車両による分列行進なども行われ、団員たちは火災のない一年とすべく決意を新たにしています。



世界とのふれあい講座

一月三十日、国際人道支援機関「ジャパン・フラットフォーム」の谷口隆太氏が講師として東京より来校され、一・二年生を対象に「世界とのふれあい講座」を開催しました。

スライドを用い、平成十八年五月二十七日インドネシア・ジャワ島のジョクジャカルタ市南部を襲った「ジャワ島地震」被災者に対する支援活動についての具体的な説明や、国際貢献・国際支援の大切さについて、分かりやすく語っていただきました。(写真①②)

卒業作品展

一月十九日から二月三日まで、シルトピアアカリッジ図書館で卒業作品の展示を行いました。美術選択生の絵画、書道選択生の書や産業ビジネス科の生徒が制作したブーケ及び心を込めて栽培した鉢花を展示しました。

卒業作品展は、十数年前より開催していますが、油木高校の学習活動の集大成を披露する良き機会となりました。

この作品については、二月八日から二月二十日まで、さんわ総合センター(高瀬)のアトリエに展示していますので、ご覧ください。(写真③④)



④

③

②

①